

ごみや資源物は 正しく出しましょう

ごみや資源物の収集日や種類は、お住まいの地区によって異なります。「ごみカレンダー」や「広報はが」裏表紙、「分別事典」をチェックしましょう。



- ごみ収集頻度
- もえるごみ(週2回)
 - もえないごみ(月1回)
 - 紙類・缶類・ペットボトル(月2回)
 - びん類・衣類布類(月1回)

環境対策課環境対策係 ☎028(677)6041

取り外して
保存できます。

粗大ごみ

家具、布団、大きな枝、ガスレンジなど、もえないごみの指定コンテナ(青)からはみ出してしまうもの

出し方

芳賀地区エコステーションへの持ち込みをお願いします。また、町では個別収集を行っています。

粗大ごみをご自宅前で回収します

環境対策課での申し込みが必要です。

収集日: 毎月最終水曜日

手数料: 1,000円/個

申込方法: 収集日の1週間前までに環境対策課
窓口で申し込み

もえるごみ

汚れた紙、ゴム類、紙おむつ、CD、アルミ箔の鍋、シュレッダーされた紙、汚れた衣類、枝(袋に入る大きさのもの)など

出し方

指定袋に入れて、収集日に出しましょう。
3袋を超える場合には、芳賀地区エコステーション(真岡市)への持ち込みをお願いします。



指定袋には、必ず氏名を記入してください。ごみは袋にきちんと収めましょう。

生ごみを資源に

もえるごみにも出せる生ごみですが、資源化が可能です。

■生ごみ資源化推進補助金

電動式生ごみ処理機、コンポスト容器、生ごみ堆肥化用有機質資材の購入補助を行っています。

■生ごみ用ステーションでの生ごみ回収、堆肥化

水気を切り、名前を書いたフタ付きバケツに入れて回収ボックスの中に入れてみましょう。

回収対象地域

祖母井市街地、祖陽が丘、緑町、下原新町、和泉ニュータウン、八ツ木の丘



資源物

芳賀地区エコステーション(真岡市)への持ち込みも可能です。

紙類

新聞紙、段ボール、雑誌、雑紙、紙パックの4種類

出し方

種類ごとに、ひもで十字に縛り、収集日に出しましょう。



缶類

飲食物が入っていたアルミ缶・スチール缶

出し方

洗ってから、指定コンテナ(黒)に入れて、収集日に出しましょう。

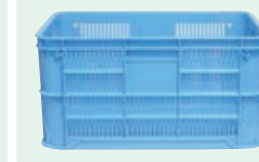


ペットボトル

飲食物が入っていた、PETマークがついているペットボトル

出し方

洗ってから、指定コンテナ(青)に入れて、収集日に出しましょう。



びん類

飲食物が入っていたガラス製容器

出し方

洗ってから、ごみ収集所に設置の共用コンテナ(青/黄)に入れて、色別に収集日に出しましょう。



衣類布類

天然繊維(綿、麻、絹)が70%以上含まれており、汚れていないもの

出し方

洗濯してから、指定袋に入れて、収集日に出しましょう。



もえないごみ

鍋、やかん、フライパン、電球、包丁、カッター、傘、板ガラス、鏡 など

出し方

環境対策課で購入できる指定コンテナ(青)に入れて、収集日に出しましょう。

コンテナ2個分を超える場合には、芳賀地区エコステーションへの持ち込みをお願いします。



- 乾電池
透明な袋に入れて、目立つ所に置きましょう。
- 刃物
新聞紙などに包み「キケン」と書いてください。

これらは、全て「もえないごみ」です

びんや缶でも、臭いや油分が取れない、耐熱加工がされているなどの理由から、資源化に適していません。



化粧品のびん、カップ酒のびん、油のびん、スプレー缶※

※スプレー缶には穴を開けてください。

プラスチック類の資源化にご協力ください

対象となるプラスチック類

次のすべてを満たすプラスチック製品です。

- ①プラスチックマークがついているもの
- ②商品を包装しているもの
- ③汚れていないもの



出し方

中身が見える透明または半透明の袋に氏名を記入し、対象の容器包装プラスチックを入れてください。

【回収場所】

- ・町施設にあるエコステーション(役場西口駐輪場、農業者トレーニングセンター、生涯学習センター)
- ・各地域にある登録エコステーション(行政区に加入している人)

環境対策課で回収中

- ・水銀を含む血圧計、体温計、温度計
- ・充電式電池(ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池のリサイクルマークがあるもの)



- ・小型家電(20×40cmの回収ボックス投入口に入る大きさのもの)
- ※役場のほか、生涯学習センター、道の駅はがで回収を行っています。

